

ねいとう 麻雀部

26年度新年号



練馬稲門会麻雀部「会報20号」 平成26年1月1日発行・編集委員会

謹賀新年 昨年度の定例会優勝者の皆さんに、“麻雀自慢”をしてもらいました。麻雀部長 富岡 晃

昨年度定例会優勝者・新年に”麻雀”を語る！

★ 第79回大会(28名参加)優勝
近野 和文 (S48 政経)



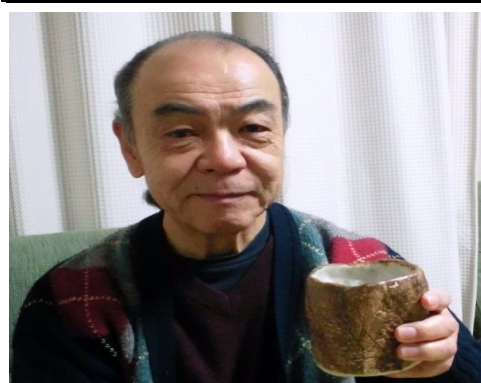
★ 第80回大会(28名参加)優勝
大友 康雄 (S54 理工)



★ 第81回大会(32名参加)優勝
富岡 晃 (S41 教)



★ 第82回大会(28名参加)優勝
山田 興太郎 (S41 法)



★ 第83回大会(24名参加)優勝
松本 誠 (S41 商)



★ 第84回大会(28名参加)優勝
鈴木 奎三郎 (S40 商)



本年十一月大会で創部・十五周年！



昨年十二月央・女史会スタート！

★ 第79回大会(28名参加)優勝

【第79回:平成25年01月26日開催】

麻雀部員 近野 和文
(S48 政経)

「私の麻雀は先行逃げ切り…」

私の麻雀は先行逃げ切りである。卓のクジを引く時からもう勝負は始まっている。

幸先よくA卓を引くとトップ争いに絡み、G卓を引くとあっさり完敗することが多い。気分的なものかも知れないが先行型の私には大切なことである。



実際の麻雀でも私にとって最初の親は吉、ラス親は凶になる。最初の親で稼ぎ、あの手この手で逃げ切りを図るというわけだ。私がトップになった第79回大会も東の一局の親で四暗刻をつもり、そのまま逃げ切ったのである。若い頃は一発大逆転ということもあったが、年とともに引きが悪くなり先行して粘るしか勝利の女神が微笑まなくなった。

こと麻雀だけでなく、一時狂った競馬や競艇でも逃げ馬やインの逃げ屋ばかり追いかけていた。逃げ切れればこれほど痛快なことはないし、つかまれば展開が向かなかつたと自分に言い訳ができる。

ということで、今年も1年の始めに逃げ切りを！



★ 第80回大会(28名参加)優勝

【第80回:平成25年03月30日開催】

麻雀部員 大友 康雄
(S54 理工)

「勝つと思わない」

わたしの麻雀は浮き沈みがけっこう激しい。

いい手で「絶対勝った」と思うと負けることがよくある。

5面待ちでシメシメと思つてリーチをすると、単騎待ちに負ける。

そうするとメタボロな流れになって大負けしてしまう。



勝ちを意識するとたいがい結果はよくない。

「勝つと思ふな、思えば負けよ」という歌があるが本当にそのとおりでと思う。

勝とうと思うと気負ってしまう、気負うと負けたときのショックが大きい。

負けるとそれを挽回するためにより大きな手で勝とうとする。

結果的にドンドン負のスパイラルに陥ってしまう。

負けた後の反省。

1. 「勝とう」として流れに無理に逆らわない。
2. いい流れが来たら見逃さず乗る。
3. いい流れはいつまでも続かないので潮時がきたら、次のいい流れまで待つ。

でも勝つのは快感なので、すぐに「勝ちたい」と思ってしまう。

負けない麻雀、楽しい麻雀を目指して今年もがんばりたいと思います。

★ 第 8 1 回 大会 (32名参加) 優勝

【 第81回:平成25年05月25日開催 】

麻雀部長 富岡 晃
(S41 教)

「 “当部は常に話題の先端をめざす！” 」

「部長として、年に1度の優勝！」を目標にしている。お陰様でここ数年は達成出来ている。昨年は5月の「81回大会」のみの優勝ですが、部会最多の9度目…。

残るは、若手No1の川田啓部員に譲った“練馬麻雀グランドスラム”の(第2号)達成ということになるだろうか？



これは、後藤修一郎部員の提案により、H23年に新設した“個人表彰”(制度)です。

グランドスラム表彰は、定例会(年6回開催)、熱海大会(年1回)、練馬早慶大会(年2回)、近隣大会(年2回)の個人戦全部を一人で優勝する必要があるため、大会3連覇に引けを取らない難事業。

第2号達成有資格者(リーチ者)は、既に2名。小井土有治、後藤修一郎両部員を乗り越える必要がありますが、なんとと言っても勝負事はわからないので、特に麻雀は…。囲碁と違って、なんと説明すれば良いのやら”ツキ”の存在があります。

さて、当部会は、本年の11月に「創部15周年」を迎えます。15周年記念事業として、「15年史の制作」・「記念品の配布」・「記念大会の開催」等を計画して居ります。

詳細は、「(仮称)15周年事業委員会」(委員長:小生)を設置し、検討の上発表します。

昨年末には、待望の“(仮称)女史会”を開催！詳細は「当部会報(号外)」をご覧ください。

何れにしても、“話題づくり”の先端を走りたい！本年もよろしくご協力の程を…。

★ 第 8 2 回 大会 (28名参加) 優勝

【 第82回:平成25年07月27日開催 】

麻雀部幹事 山田 興太郎
(S41 法)

「 初 優 勝 の 喜 び 」

部会には50回大会で初参加、3位で初陣を飾りました。初参加の時には、自動卓での経験が無かったためサイコロボタンを押すのも緊張していました。

以降、81回まで「優勝」という冠を頂くことが出来ず、自分にはたどり



着けない巔か…と大会が終了するたびに[運]の悪さを悔やんだりして～

皆様からは、[ツキ]じゃないよーへたなんだよの声が聞こえて来るようです。

それでも何度かチャンスはありましたが、もって生まれた根性無しが勝負のツキにも現われ、取り逃がしています。

振込んだ時に見せる自分の手づくり、この手じゃいっちゃうよ！

こんな会話で自分を慰めても何にもなりません。勝てません。

所詮、勝負は1位にならなければ…2位ではいけないのです。

そして、やっと82回目・7月大会で「優勝」することができました。

一回戦・+25 二回戦・+9 三回戦・+40

四回戦・+39 トータル113 2位との差(46)

これからも一回戦・一回戦を大切に、勝負いたします。

富岡部長同様、年に1回の優勝を…さらにはグランドスラムを目指します。

皆様、今年もよろしく願いいたします。

★ 第 8 3 回 大 会 (24名参加) 優 勝

【 第83回:平成25年09月28日開催 】

麻雀部員 松本 誠
(S41 商)

「 今回の優勝は3年ぶりかな? 」

今回(2013年9月度第83回)の優勝は3年ぶりかな?過去には4回優勝がありました。

それが最近はず～と勝てない!どうしたのだろう!と自問して見たが…結論!振り込まないうち方をする!



これだ!そうすればダマテン以外には打ち込まない!ダマテンだってじっくり相手の目を見れば推察がつく!まあそんなことを目標に実践。それにしても麻雀は運7割、技術3割といわれます。されど運を味方にするのもこれは技術かな。

ボクは学生時代はほとんど麻雀には無縁でした。学生は学問最優先との認識のため(決してガリガリではなかったが)授業をサボっての麻雀経験はなし。もっぱら社会人になってから、それも結婚して家庭を持ってから、たまにテツマン。正月は3日連続も。かみさんが怒ること怒ること!でも稲門会仲間とのチーポンは最高です!

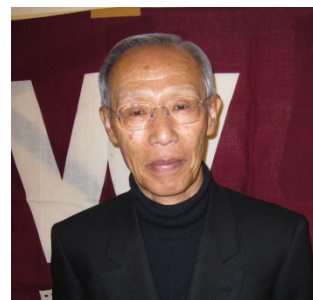
★ 第 8 4 回 大 会 (28名参加) 優 勝

【 第84回:平成25年11月30日開催 】

麻雀部員 鈴木 奎三郎
(S40 商)

「 見 返 れ ば 鈴 懸 の … 」

見返れば鈴懸の花天に咲き木仏の音奏でたり春疾風清明や奎文の人牌を打つ春水をY字に分けて三角州



…この俳句は、ぼくの師である中尾良茸さんの作である。四句にはぼくの名前が刻まれていて、なかなかの名句で気に入っている。中尾さんは、資生堂の黄金時代のテレビCMディレクターとして名を馳せた人で、俳句の力量も確かだ。

牌の記憶を振り返れば、鶴巻町界隈の「西北荘」「緑発荘」などで過ごした青春の日々。今は「来賓館」での隔月の楽しみ…。勝ち負けはあっても、所詮素人麻雀はツキが8割。いい皆さんと過ごす至福のひと時をこれからも大事にしていきたい。

そこで一句…

白發中ツキは廻りて春うらら

鈴木 奎三郎



★ 本 年 の 行 事 (予 定)

①「平成26年01月25日(土)」	第85回大会	⑦「平成26年07月26日(土)」	第88回大会
②「平成26年02月09日(日)」	第7回近隣大会	⑧「平成26年08月●日(日)」	第8回近隣大会
③「平成26年03月02日(日)」	第7回早慶大会	⑨「平成26年08月●日(日)」	第8回早慶大会
④「平成26年03月29日(土)」	第86回大会	⑩「平成26年09月27日(土)」	第89回大会
⑤「平成26年04月26日(土)」	第6回熱海大会	⑪「平成26年11月29日(土)」	第90回大会
⑥「平成26年05月31日(土)」	第87回大会	⑫「平成26年12月13日(土)」	第3回忘年大会